平成25年度 笛吹市当初予算

みんなで奏でる
“にぎわい・やすらぎ・きらめき”のハーモニー

CONTENTS

予算の概要 02
環境にやさしく、安心して健やかにくらせるまちづくり 06
将来像実現に向けた取り組み 裏表紙
実り多い産業と、人々の集うまちづくり 04
個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり 10

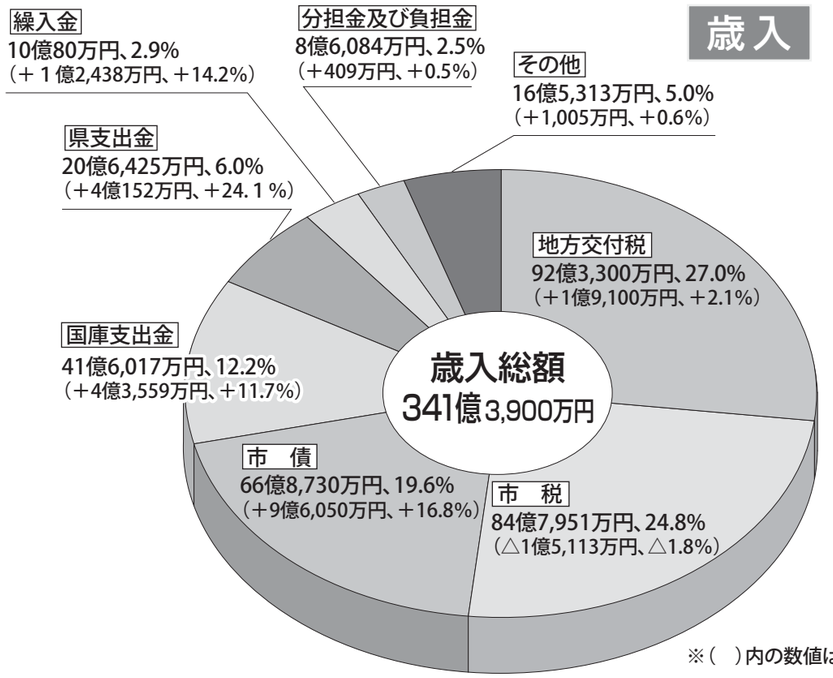
平成25年度 当初予算

みんなで奏でる"にぎわい・やすらぎ・きらめき"のハーモニーを目指して

平成25年度は、総合計画の基本構想期間10年を折り返す節目の年です。今まで実施してきた施策についても再検証し、将来像実現に向けた取り組みを一層推進していきます。

平成25年度一般会計予算構成

歳入



※（　）内の数値は対前年度増減

平成25年度当初予算額は、341億3900万円で、前年度と比べると6・1%、19億7600万円の増加となります。主な要因として、石和温泉駅周辺整備事業や本庁舎等耐震改修事業などの普通建設事業など投資的な事業や御坂浄・配水場建設等に伴う水道事業への出資があります。加えて、子育て支援として子どもすこやか医療費助成事業の対象を中学生まで拡充したことが挙げられます。

また、基盤整備を推進する中で、引き続き大型建設事業費が増えていますが、多機能アリーナの建設中止や、バイオマスセンターの建設を凍結しています。一方では、市民の生命財産を守るため、公共施設や通学路の安全対策に配慮するとともに、災害危険地域への防災行政無線戸別受信機の整備など、防災対策にも積極的に取り組んでいます。

また、保健面では、新たにロタウイルス、おたふくかぜ、水ぼうそうの予防接種への助成を他市に先駆け拡充。さらに、教育・文化面は、子どもたちが安心して教育を受けることができるよう、石和中学校校舎等改築事業など、教育環境の整備を進め、国民文化祭における俳句大会などの開催経費や、全国高校総体への準備経費など、ソフト事業においても重点配分を行いました。

▼歳入

地方交付税が92億3300万円で、前年比2・1%の増、歳入全体の27%を占めています。

ついで、市税が84億7951万円で、1・8%の減、歳入の24・8%となっています。ついで、市債が、普通建設事業に伴う合併特例債の発行により、前年比16・8%、9億6050万円の増になっています。なお、市税、分担金及び負担金などの自主財源は前年比で2・0%の減、全体の31・7%となっています。

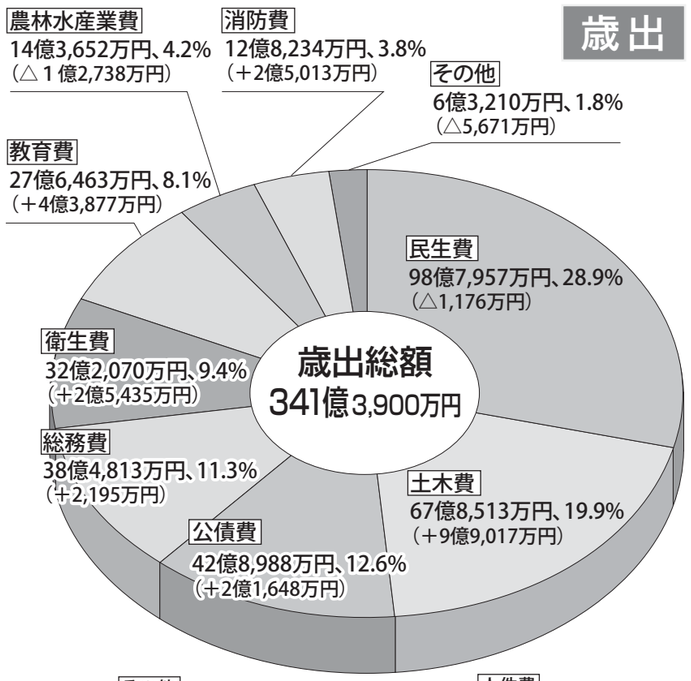
▼歳出

民生費が全体の28・9%で、98億7957万円となっています。ついで、土木費が19・9%で、67億8513万円です。砂原橋架替事業、市道の改良や通学路および橋梁・道路施設にかかる道路維持管理事業などを行います。

特別会計・企業会計予算

会計名称		25年度当初予算額	前年度当初予算の増減割合
特別会計		185億3,671万円	2.96%
内訳	国民健康保険特別会計	86億1,733万円	2.18%
	介護保険特別会計	53億1,286万円	0.92%
	介護サービス特別会計	1,656万円	△7.94%
	後期高齢者医療特別会計	13億4,068万円	△1.73%
	公共下水道特別会計	31億4,085万円	11.74%
	農業集落排水特別会計	4,717万円	△8.39%
	簡易水道特別会計	1,804万円	12.64%
	財産区	4,322万円	△0.39%
企業会計		48億7,480万円	15.15%
内訳	水道事業	48億19万円	15.29%
	春日居地区温泉給湯事業	7,461万円	7.00%

歳出



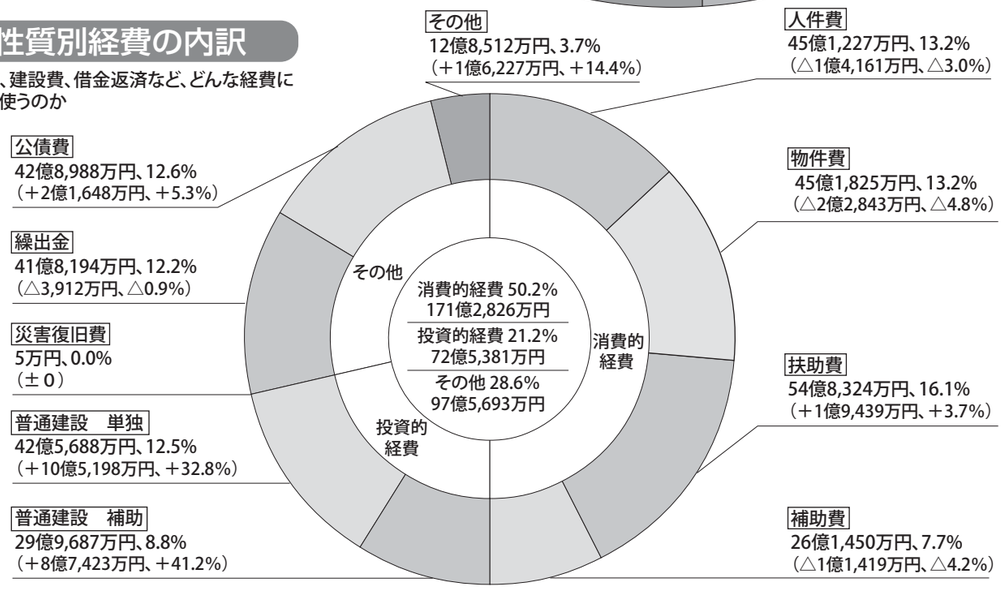
目的別予算歳出概要

福祉・教育・商工など、どんな目的でお金を使うのか

	款名称	25年度予算	当初増減割合
1	議会費	2億3,373万円	△10.5%
2	総務費	38億4,813万円	0.6%
3	民生費	98億7,957万円	△0.1%
4	衛生費	32億2,070万円	8.6%
5	労働費	1,267万円	△0.1%
6	農林水産業費	14億3,652万円	△8.1%
7	商工費	3億4,631万円	△3.3%
8	土木費	67億8,513万円	17.1%
9	消防費	12億8,234万円	24.2%
10	教育費	27億6,463万円	18.9%
11	災害復旧費	5万円	0%
12	公債費	42億8,988万円	5.3%
13	諸支出金	934万円	△74.6%
14	予備費	3,000万円	50.0%

性質別経費の内訳

人件費、建設費、借金返済など、どんな経費にお金を使うのか



用語			説明
歳入		地方交付税	国が、全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、自治体の財政規模など一定基準により、交付するもの
		市税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税など
		市債	市が、学校や庁舎などの公共施設の整備に充てるために国や金融機関などから調達する借入金
		国庫支出金	国が、市と共同で行う事業について、予算負担割合を定めて支出するもの
		繰入金	一般会計、特別会計および基金の間で、相互に資金運用をするもの
		分担金及び負担金	市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するもの。保育園の保育料などがあります。
歳出	目的別	民生費	福祉、医療、保育など
		公債費	市債の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費
		総務費	庁舎管理、戸籍事務、選挙費用など
		衛生費	健診、予防接種、ゴミ処理など
	消費的経費	人件費	職員などに対する給与、報酬
		物件費	人件費、扶助費、補助金等以外の消費的性質の経費
		扶助費	社会福祉や老人・児童福祉など安定した社会生活の保障に要する経費
		補助費	各種団体に対する負担金・補助金および交付金等の経費
	投資的経費	普通建設（補助事業）	道路、橋りょうなどの建設事業の経費で、国から補助を受けて実施する事業に要する経費
		普通建設（単独事業）	道路、橋りょうなどの建設事業に要する経費で、国から補助を受けることなく独自の財源で任意に実施する事業に要する経費
		災害復旧費	災害によって被害を受けた施設などを原形に復旧するための事業に要する経費
	その他	繰出金	一般会計から特別会計へ基準に基づき支出するお金

実り多い産業と、人々の集うまちづくり

美しい地域環境と有利な位置条件を活かし、人やもの、情報等の交流を促進し、ここに住み、働き、集うといった市民生活の活気と地域の経済力を高め、来訪者とともに市民の夢や価値が創り出せるまちをつくります。

石和温泉駅周辺整備事業
【市の玄関口にふさわしい顔づくり】
7億2,780万円

石和温泉駅の改築は、南北自由通路の建設および駅舎建て替えに着手します。

北側イメージ　石和温泉駅イメージ（南側）

地域の特色を活かした土地利用を進めるまちづくり

景観形成推進事業【ふるさとを誇る風景づくり】（まちづくり整備課）630万円

景観計画の策定・景観条例の制定を機に、市民意識の気運を盛り上げるためのイベントを開催したり、県の補助事業を活用し、景観の保全に努めます。

人が行き交う道路・交通ネットワークづくり

道路維持管理事業【生活上の基礎的な基盤整備】（土木課）4億6521万円

市道の維持管理および地区要望により市道を改良するほか、平成25年度からは、橋梁・道路施設の長寿命化のために、国の補助を受け実施計画の策定等を行います。

市営バス運行事業【公共交通網の整備】（経営企画課）3665万円

公共交通の空白地域に、移動手段を確保するため「一宮循環バス」、「境川巡回バス」、「芦川バス」の3路線で市営バスを運行するほか、デマンドタクシーを「みさかルート」、「ふじみルート」の2路線で運行します。

砂原橋架替事業（土木課）11億496万円

石和町砂原地区と八代町増利地区を結ぶ既存の砂原橋の架け替えを行います。下部工は、平成23年度から着手し、平成25年度前期で完了予定です。その後、上部架設工、床版工、一部取り付け道路工事を行い、併せて用地買収を行います。

（仮称）笛吹スマートインターチェンジ周辺道路整備（土木課）1億1500万円

中央自動車道の八代町南地内にスマートICを設置することに伴い、周辺道路の整備を行います。平成24年4月に国からの連結許可を受け、地元説明会、測量に着手しています。平成25年度は実施設計、用地買収を行い、一部道路改良工事に着手します。

人々の交流を盛んにするしくみづくり

友好都市親善交流事業【国際交流視察事業】（経営企画課）700万円

国際友好都市であるドイツのバート・メルゲントハイム市とフランスのニュイ・サンジョルジュ市、中国の肥城市と国際交流を促進します。

観光宣伝事業（観光商工課）2808万円

経済発展を後押しするため、市内で行う各種イベントのポスターやパンフレットの制作、また電車・高速バスに広告を掲載したり車内放送を実施するなど、様々なメディアを利用して宣伝活動を行います。

もてなしの心があふれる観光地づくり

観光イベント事業（観光商工課）8851万円

年間を通して、多くの観光客が誘客できるよう、桃の花まつりや笛吹川石和鵜飼、甲斐いちのみや大文字焼き、花火大会、ぶどうエキスポ、ハウス桃園の花見の実施など、観光関連団体と連携しPR活動を行います。

桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり

新規就農者支援【新たな農業の担い手の確保】（農林振興課）1480万円

30歳未満の新規就農農業後継者（専従者）に1世帯あたり月額3万円が最大5年間交付されます。45歳未満の新規就農による経営者で、Iターンの場合は1世帯あたり年額100万円、Uターンの場合は1世帯あたり年額50万円が2年間交付されます。

地産地消推進事業【農業経営の支援】（農林振興課）898万円

地域農業の活性化と新たな販売ルートの確保のため、地元で収穫された安全で安心な農産物を地元の消費者に提供することを目的に、市内に農産物直売所を4カ所、農産物加工センターを2カ所設置して「食」の地産地消を推進します。

上芦川地域原風景復活保存事業【点在する資源を整備し原風景を復活させ、県内外からの集客を図る】（芦川支所）1075万円

上芦川地域に点在する資源（茅葺（かやぶき））の古民家、水車小屋、道水路等を整備し、原風景を復活させることにより、訪れる多くの人々に安らぎの気持ちを与えながら、併せて地域の活性化を図ります。

活力ある地域経済づくり

商工関係団体補助費

【企業立地推進助成金事業】
【東北太平洋沖地震対策資金利子補給事業】（観光商工課）780万円

商工業の振興を図るための補助を行っています。

○笛吹市商工会の実施する各種事業および運営に関する補助
○企業立地活動への補助
○東北太平洋沖地震対策資金の利子補助
○笛吹市工業誘致奨励条例に基づく、固定資産税相当分範囲内での補助

環境にやさしく、安心して健やかにくらせるまちづくり

豊かな自然を守り、循環型社会づくりを進める「環境にやさしいまち」、子どもから高齢者まで、誰もが自分らしい生活を地域で営むことができる「人にやさしいまち」として、地域のつながりを大切にしながら、安全・安心で、快適なまちをつくります。

災害に強い安全な備えづくり

防災行政無線整備【防災放送設備維持管理】（総務課）3811万円

防災行政無線は平成24年4月から防災無線デジタル統合が完了して運用が始まりました。災害情報、不明者の捜索、気象情報を提供するための緊急放送や平常時の行政情報の伝達手段として活用するための維持管理を行い、難聴地域への戸別受信機の設置を行います。

木造個人住宅耐震化支援事業【地震に強い家を目指す】（まちづくり整備課）1848万円

本市は、東海地震が発生した場合、大きな地震災害を受ける恐れがある「地震防災対策強化地域」に指定されています。

一方、地震により倒壊の恐れがある古い基準で建てられた木造住宅が市内に多数存在することから、耐震化の促進が必要です。平成25年度には、耐震改修補助10戸、耐震建替補助20戸、シェルタ設置補助2戸等を行います。

本庁舎耐震改修事業（管財課）6億6977万円

本庁舎東側は、新耐震基準以前の建物で電気・機械設備の老朽化も進んでいる状況です。また、災害発生時には災害対策本部を設置するため高い耐震性能が求められます。

このため、本庁舎の耐震補強工事を行い安全で災害時の拠点となる建物とするとともに、エレベーターや太陽光発電設備の設置と照明のLED化を行います。

命を守り安心して暮らせるしくみづくり

消防施設整備【消防防災施設の設置・管理】（総務課）1億7087万円

消防防災活動をより効果的に行うための消防施設として消火栓・防火水槽の設置、消防車両の配備・詰所の建設を進めます。

また、消防施設の維持管理を行います。

火災予防啓発事務（消防本部）70万円

火災予防運動等、あらゆる機会をとらえて、市民に防火意識・対策の必要性を啓発します。併せて、住宅用火災警報器の設置を促し、近年増加傾向にある住宅火災による死傷者および被害の軽減を目指します。

非常備消防支援事務（消防本部）28万円

地域防災力の要である消防団員への各種訓練指導等を通じて、基礎消防技術および災害対応能力のレベルアップを図り、消防団の組織力および地域防災力の更なる向上を目指します。

救急通信事業（消防本部）542万円

傷病者の「救命率」向上のため、その場に居合わせた市民の一人ひとりが適切な「応急処置」ができるよう応急手当の普及活動に努めます。

また、真に緊急を要する方のために、救急車の適正利用を呼びかけます。

交通安全対策事業【高齢者と自転車の事故防止】（市民活動支援課）82万円

ここ数年、交通事故発生件数と交通事故による死亡者は、全国的には減少傾向にありますが、高齢者や自転車に関わる交通事故については増加しています。交通弱者（幼児・高齢者など）を交通事故から守るために、世代別に交通安全について啓発や教室を開催します。

快適で暮らしやすい生活環境づくり

第1次拡張事業【御坂浄・配水場建設事業】【境川関連送・配水管整備事業】（水道課）23億5628万円

御坂浄・配水場建設事業は、平成24年度と25年度の継続事業として行われます。

御坂町下黒駒地内に計画浄水量、日量8090㎥の浄水場建設、下野原地内に貯水量2000㎥の配水場建設および浄水場と配水場を結ぶ送水管や配水管の布設を行います。境川関連送・配水管整備事業は、送水管を砂原橋に添架および取り付け道路に送・配水管の布設を行います。

公共下水道整備事業（下水道課）6億5972万円

下水道計画は、昭和52年に基本計画が策定され「峡東流域下水道計画」の関連公共下水道として計画が進められてきました。

現在の市全体計画は3299・2ha、事業認可面積は2512・8haです。平成24年度末累計で約1951haの整備を完了し、普及率は59・4％です。現計画における完了年次は平成32年度を予定としていますが、計画書通りの事業を継続することは財政的に厳しいため、整備計画の見直しを図っています。

公営住宅維持管理事業【老朽化住宅の改修】（管理総務課）1億4651万円

住居のセーフティネット（救済策）として、安価な家賃で快適な生活環境を提供するために、維持管理・改善・建て替えを進め、既存公営住宅等の資産を長寿命化します。具体的には、八代定住促進住宅浴室改善・駐車場整備、その他団地の屋根防水などの改修工事を行います。

八代ふるさと公園整備事業【新たな観光拠点の創出】　平成25年度には、駐車場等施設整備や植栽を行い、拡張整備を完了する予定です。

美しい環境を大切にする社会づくり

ごみ減量化推進事業（環境推進課）309万円

家庭から出される可燃ごみの減量により地球温暖化防止等の環境対策に取り組みます。特に可燃ごみ中に含まれる割合が高い「生ごみ」の資源化推進のため、家庭用生ごみ処理機等の購入費の補助やEM菌を使ったボカシ製造団体・ダンボール箱での生ごみ堆肥化モニターへの材料配布を行います。

また、可燃ごみ53％減量達成のため、各地区への説明会、市内大型店舗でのキャンペーンにより分別徹底を呼びかけます。

ミックスペーパー・その他プラスチック回収事業（環境推進課）1307万円

可燃ごみに混入しているミックスペーパーとその他プラスチックを分別収集することにより、処理時の環境への負担軽減と資源の再利用等を推進します。

健やかで生きいきと暮らせる環境づくり

子どもの予防接種事業（健康づくり課）1億8961万円

定期および任意の予防接種について、感染症を予防し、重症化を防ぐため定期接種が全額費用助成されます。また、新たにロタウィルス・水痘・おたふくかぜの任意接種が一部費用助成されます。接種率向上のため、予診票を個別通知するとともに各健診で接種状況を確認し、接種忘れがないよう指導します。

安心して生み育てられる環境づくり

子どもすこやか医療費助成金支給事業（児童課）3億4144万円

疾病の早期発見・早期治療を促し、子どもの健康増進と子育て家庭の経済的負担の軽減を図るために、助成対象年齢を小学校6年生（12歳）から中学校3年生（15歳に達する日以後の最初の3月31日）までに拡大して、医療費の助成を行います。

保育所運営事業【安全安心な保育環境を目指して】（保育課）19億8846万円

公立保育所14施設および私立保育園10施設で保育所運営、保育事業を行っています。通常保育に加え、延長保育や一時預かり保育などの特別保育は、保護者のニーズを把握しながら、実施する保育所を適切に配置し、受け入れ態勢を整備します。

高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり

認知症高齢者対策事業（高齢福祉課）28万円

高齢化に伴い、認知症高齢者は今後ますます増えることが予想されます。

認知症についての正しい理解を持ち、地域全体で支援していくことが必要となってきている背景を踏まえ、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症高齢者やその家族の支援・認知症予防活動の推進・普及啓発等に取り組みます。

地域密着型介護サービス給付事業（介護保険課）4億3954万円

高齢者が住み慣れた地域で安心して快適に生活を送ることを支えるため、市で指定した事業所の利用者を対象に提供されるサービス給付事業です。

平成24年度は、介護老人福祉施設2施設が運営を開始しました。

平成25年度には定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を1カ所、認知症対応型通所介護事業所1カ所を整備する予定です。

障がい者の自立を支援する環境づくり

障害者介護給付・訓練等給付事業、障害児通所給付事業（福祉総務課）8億5798万円

法律に基づくサービスの提供を行い、障がい児・者の自立を支援します。法令の一部改正等により、平成24年度から相談支援体制の充実や障害児支援の強化など、新たな体系への見直しが図られました。

制度の枠組みやサービス内容等がめまぐるしく変化することから、市民、対象者への周知と啓発を行っていきます。

暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり

国民健康保険賦課徴収事業（国民健康保険課）783万円

高齢化や医療の進歩により医療費は増加する一方、経済不況による所得の減少などにより国民健康保険税の収納額が低下するなど、国民健康保険事業を取り巻く環境は厳しいものがあります。

自主財源を確保するために国民健康保険税の収納率向上に努めます。

生活保護受給者等就労促進事業（生活援護課）295万円

厳しい雇用環境が続くなか、生活保護受給者や生活困窮者においても就労は、より困難になっています。

経済的自立の促進には就労の確保がとても重要です。就労可能な方に対し、就労支援員による助言や指導および、ハローワークとの連携により、きめ細やかな就労支援を行います。

個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり

夢や目標に向かって、生きる力、学ぶ力のある子どもを育むとともに、市民が地域の歴史・風土を知り、また、多様な文化・スポーツ活動を楽しむ中で、自らの生きがいと地域の誇りが培われるまちをつくります。

子どもたちの個性を尊重する学校づくり

学校教育ビジョン具現化事業（学校教育課）378万円

市における学校教育の基本指針となる「笛吹市学校教育ビジョン」を、平成20年策定当初の計画どおり見直します。また、このビジョンの具現化を図るため、引き続き指導主事を配置し、県教委や各小中学校と連携を図っていきます。併せて標準学力検査（NRT）の結果を分析し各校へ情報提供したり、教師力向上のための各種研修会や保幼小中高連携会議を実施します。

芦川小学校屋内運動場耐震改築事業（教育総務課）7720万円

現在の屋内運動場は、新耐震基準に適合していません。また、災害時の避難所にも指定されていることから耐震改築工事を実施します。さらに、グラウンド改修等も行うことにより、小学校の全体的な教育環境の整備を行います。（26年度予算　2億7180万円）

石和中学校校舎等改築事業【25年度給食棟改築】（教育総務課）4億5964万円

石和中学校北館校舎および給食棟については、老朽化とともに構造的にも問題（各棟の往来に支障がある、いわゆるバッテリー型校舎）があります。

教育環境や調理衛生環境を改善するため、北館校舎および給食棟の改築を行います。

○25年度　給食棟改築、仮設校舎建築

○26年度　北館校舎改築等（13億7216万円）

いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり

国民文化祭事業（生涯学習課）1778万円

富士の国やまなし国民文化祭2013において、市の主催事業として、夏のステージ「いさわ鵜飼」をはじめ、秋のステージ「文芸祭俳句大会」や「現代詩の祭典」、「甲斐国千年の都の文化財巡り」および「いにしえの華―やまなしの縄文展」を開催します。

図書館管理運営事業（図書館）3925万円

①貸出・返却
②レファレンス（学習・調査などへの情報提供）
③子どもの読書活動推進のための「ブックスタート」、館内での読み聞かせ、保育園・学校等に出向いてのお話し会や館外貸し出し、子どものための図書館講座、小学校新入生への図書館カードプレゼント
④地域・病院・福祉施設等に出向いてのお話し会や館外貸し出し
⑤大人のための図書館講座
などを実施します。

地域の文化を育み伝える環境づくり

文化財活用事業（文化財課）248万円

小中学生向きに市の動植物を紹介する冊子を作成します。また、平成24年度までに作成した市の埋蔵文化財を紹介するエリアマップ・スポットガイドを郷土館等で配布し、史跡巡りなどで活用していきます。さらに国民文化祭では岡銚子塚古墳・甲斐国分寺跡等を県内外にPRしていきます。

史跡甲斐国分寺跡整備事業（文化財課）190万円

甲斐国分寺跡および国分尼寺跡の発掘調査の成果を基に平成25年度は当時の国分寺の様子を、分かりやすくご覧になっていただくための方法等、基本プランづくりに向けた取り組みを行います。

国民文化祭の会場地でもあり甲斐国分寺跡を県内外にPRします。

将来像実現に向けた取り組み

今後は、「自らの地域は自らでつくる」という方針のもと、市民と行政がそれぞれ主体的に、かつ力を合わせてまちづくりを進めていきます。また、健全で安定した行政基盤をつくるため、効率的で効果的な地域経営を行います。

市民と行政の協働によるまちづくり

まちづくり推進事業【市民協働によるまちづくり支援】（市民活動支援課）１４７７万円

市民の社会貢献活動を支援します。助成事業の実施、活動支援講座・地域づくりワークショップ・フォーラムなどの開催、市民活動サロン「よっちゃばる広場」の開設、インターネットポータルサイト「よっちゃばるネット笛吹」の運用や情報誌「よっちゃばる通信」の発行により、「協働」への理解と実践を図ります。

親しみやすく機能的な市役所づくり

電子市役所構築事業【信頼できる電子市役所の構築】（情報政策課）２７６３万円

電子自治体としての行政機能を高めるため、市内7カ所に証明書自動交付機を設置しているほか、県内市町村と共同で、電子申請受付、財務会計システムを導入、また証明書のコンビニ交付、広域交付にも取り組んでいます。

● 発　行／平成25年5月1日　笛吹市役所　● 編集／経営企画課　広聴広報担当
● 所在地／〒406-8510　山梨県笛吹市石和町市部777番地　● URL　http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp